

美々津中学校便り

4月号

文責：横山 博章（校長）

4月に赴任した校長の横山博章と申します。歴史と伝統のある美々津中学校に勤めることができることを大変嬉しく思います。美々津中学生、保護者、地域のために精一杯取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新入生23名が入学しました・・・

【校長の式辞より】

新入生の皆さんは、それぞれが中学校生活への抱負を心に抱き、入学されたことと思います。皆さんはこの三年間で、自分の将来への道筋を立て、実現のための力を身に付けなければなりません。そこで、皆さんに心掛けてほしい事を二つお願いします。

一つ目は、「当たり前前を当たり前にする」ということです。なかなか難しいことではありますが、「あいさつをしっかりとしたり」「そうじを一生懸命したり」など、取り組む姿形をしっかりと作ること、心を磨くことにつながります。何事も形をしっかりと作ること、言い換えれば基本を身に付けることです。将来の自分を作り上げるために欠かせません。勉強であれ、スポーツであれ、基本がしっかりとできている人が向上できます。また、一生懸命することで、自分がどのようなことに向いているか気付くことができ、将来の自分の姿を描くことができるのです。

二つ目は、「仲間を大切にすること」ということです。楽しい生活を送るためにも、笑顔で元気よく、自分から「おはようございます」のあいさつを言いましょ。う。「ありがとうございます」と心から感謝の言葉を伝えましょ。う。「大丈夫」と仲間を気遣い、励ましましょ。う。「一緒に頑張りましょ。う」と勇気づけることもいいですね。仲間を大切にすることとは、相手を思いやった美しい言葉を使うということ。お互いに認め合い、助け合うためのコミュニケーションは、自分が発する言葉です。たくさんたくさん美しい言葉を使い、温かい雰囲気の中にある美々津中学校でありたいと思います。

この二つのお願いである、「当たり前前を当たり前にする」「仲間を大切にすること」を常に心において、中学校生活を送ってください。そして3年後、自分の目指す将来の道筋に進めるようにしてください。



【新入生誓いの言葉より】

暖かな春の訪れと共に、私達23人の新入生は無事に美々津中学校の入学式を迎えることができました。本日は素晴らしい式を開いていただき、本当にありがとうございます。

これからは、小学生の時よりも勉強内容が難しくなったり、

今までなかった定期テストもあつたりと、不安もあります。しかし、学校行事や部活動にも一生懸命取り組んでいる先輩方の良いところをたくさん取り入れて、悔いのない中学校生活を送り、しっかりとした行動が取れるよう心掛けていきたいと思ひます。

まだ、私達新入生は右も左も分からない状況です。どうか、先生方、先輩方、しっかりとした美々津中学校の生徒として精進してまいりますので、あたたかい目で見守って頂き、ご指導くださいますようお願いいたします。

新入生代表 黒木 遥希



地震への対応、津波からの避難、命を守る訓練を実施しました。



【避難訓練(地震)】 4月13日(水)

南海トラフ大地震が心配される中、津波からの避難を想定し、毎年、新入生が入学してすぐに、地震による津波発生の避難訓練を実施しています。「自分の命は自分で守る」、避難経路や場所の確認をするとともに、防災士の方からの講話をいただきました。

【対面式・オリエンテーション】 4月15日(金)

生徒会が主催となって学校の事を新入生に知ってもらう校内行事がありました。生徒会の組織や各専門委員会からの説明、部活動紹介など、生徒が工夫しながら一生懸命アピールしていました。



【指揮台を寄贈していただきました】

株式会社 MFE HIMUKA 様から指揮台を寄贈していただきました。4月26日(火)に体育館で贈呈式が行われ、代表取締役 島原俊英 様から、目録を生徒会長 河野輝大さんが受けました。有効に活用していきたいと思っております。ありがとうございました。



1年生が入学して、一ヶ月が過ぎました。コロナ感染者数の増加、高止まりが心配される中、感染対策を講じながら家庭訪問や参観日を実施したところでもあります。今後も油断できない状況にありますが、学校行事等は、できるだけ実施していく方向でいきたいと考えます。子ども達は落ち着いた雰囲気、全校生徒71名でスタートすることが出来ました。どうぞ今年度も子ども達への応援をお願いいたします。